

部局経営方針

部 局 名	消 防 局				
部局の使命	消防事務はすべて市町村の自治事務として分類されており，消防組織法第 1 条に規定する住民の生命，身体及び財産を災害から守るという「消防の任務」の遂行と「誰もが安心して快適に暮らせるまちづくり」の推進を使命とする。				
経営資源	予算	当初 約 18 億円			
	構成 人員		消防本部	消防署	計
		職 員	3 4	1 1 8	1 5 2
		嘱託員	1		1
	計	3 5	1 1 8	1 5 3	
現状認識及び中期展望	<p>1 現状認識（課題・問題点）</p> <p style="padding-left: 20px;">執務・活動環境の整備（庁舎の狭隘化・各種資機材の整備等）</p> <p style="padding-left: 20px;">火災・救急件数及び被害の増加</p> <p style="padding-left: 20px;">違反対象物の是正の徹底（防火対象物に対する適正指導）</p> <p>2 中期展望（見通し等）</p> <p style="padding-left: 20px;">本部庁舎移転等を含めた消防体制の整備</p> <p style="padding-left: 20px;">通信指令システム・消防無線のデジタル化移行の検討</p> <p style="padding-left: 20px;">救急需要増加への対応</p> <p style="padding-left: 20px;">予防行政の充実</p>				
今年度の部局目標	<p>1 誰もが安心して快適に暮らせるまちづくりの着実な推進</p> <p style="padding-left: 20px;">消防の任務を十分に果たし得る体制の整備（職員の資質向上及び資機材の整備）</p> <p style="padding-left: 20px;">予防査察の徹底と違反対象物の是正</p> <p style="padding-left: 20px;">救命率の向上</p> <p style="padding-left: 20px;">消防職員及び団員の現場活動等における公務災害の根絶</p> <p>2 数値目標</p> <p style="padding-left: 20px;">火災件数 対前年同数（85 件）</p> <p style="padding-left: 20px;">救急件数 対前年同数（3,844 件）</p> <p style="padding-left: 20px;">普通救命講習会の受講者数 年間 1,000 人</p>				
目標設定の理由	<p>1 火災件数及び損害額の増加</p> <p>2 救急件数の増加と救急車の適正利用の促進</p> <p>3 防火対象物の増加</p>				
目標達成に向けての手段・方策	<p>1 誰もが安心して快適に暮らせるまちづくりの着実な推進を図ることから，まず消防自らがその任務を十分に果たし得る体制の整備を進めるとともに，地域住民の期待と負託に応え住民から信頼される消防として，また，全体の奉仕者として規律厳正にして職務に当たる。</p>				

	<p>2 職員の資質向上のため消防大学校をはじめとする各種研修に積極的に派遣する。</p> <p>3 火災件数等の減少の実現に向けた取組みを強力に推進するとともに、住宅用防災機器の普及や災害時要援護者への防火安全指導を充実し、さらに広報紙、ホームページ等のあらゆる広報手段を通じて火災予防を呼びかけ、市民一人ひとりの防災意識や災害対応能力を向上させ各種災害による被害の軽減を図る。</p> <p>4 予防査察については専門担当官を配置し、各署所毎の査察計画を策定し、通年の査察体制を確立するとともに違反对象物の確認、是正及び追跡査察等により、違反对象物の減少を図る。</p> <p>5 普通救命講習会の開催を積極的に推進し受講者数増加を図り、市民の応急手当能力の向上に取り組むとともに、市民、消防及び病院が一体となった救急体制（救命の連鎖）を構築し、救命率の向上を図る。</p> <p>また、年々増加の一途を辿る救急需要において、真に救急車を必要とされる事案に対し、限られた消防力を有効に活用し、適切な住民サービスが図れるよう、救急車の適正利用について住民へ周知する。</p> <p>6 訓練及び災害時等の安全管理について研修会を開催し、職員及び団員一人ひとりに危機管理意識を浸透させる。</p>
--	--